

千葉教育

菜

平成29年度
No.648

2・3月

千葉の子どもたちの未来のために

特集

新学習指導要領特集Ⅱ～プログラミング教育の在り方～

○シリーズ 現代の教育事情

ビスケット開発者	原田 康德
株式会社情報通信総合研究所特別研究員	平井聡一郎
県教育庁教育振興部指導課	
一宮町役場企画課課長補佐兼企画係長	山口 裕之

○提言

シンガーソングライター	大野 靖之
-------------	-------



- ◆学校自慢
未来のわたしに向かって めざせ！「高校デビュー」 県立船橋古和釜高等学校長 勝井 洋一
- ◆提言
道徳、それは心のあたたかさときき出会い シンガーソングライター 大野 靖之 …2

シリーズ！ 現代の教育事情 新学習指導要領特集Ⅱ～プログラミング教育の在り方～

- プログラミング教育の本質 ビスケット開発者 原田 康徳 … 4
- これならできる小学校プログラミング 株式会社情報通信総合研究所特別研究員 平井聡一郎 … 6
- プログラミング教育の実施に向けて 県教育庁教育振興部指導課 … 8
- プログラミング教育の推進と取組 一宮町役場企画課課長補佐兼企画係長 山口 裕之 …10

私の教師道

- 学校を創る 子どもたちの成長を考え、挑戦する教職員の育成を目指して 山武市立大平小学校長 川野佳代子 …12
- 学校を支える 地域を支えられ、地域を支える学校～学校支援地域本部との連携を推進するために～ 流山市立北部中学校教頭 弘永修二郎 …14
- 学校を動かす 教務主任としてできること 長南町立長南中学校教諭 三ツ本 勝 …16
- 研修を生かす 組織的な研修体制の確立を通じた校内研修の充実～授業改善を目指して～ 成田市立遠山中学校教諭 栗原 直行 …17
- 授業を創る 視点を変えて、変化を生み出す 鎌ヶ谷市立第四中学校主幹教諭 相馬 高広 …18
- 子どもを知る 私の一年目 県立我孫子特別支援学校清新分校教諭 鈴木竜太郎 …20
- 子どもを知る ゴール（目標）を見据えて 我孫子市立布佐中学校教諭 荒井 晴美 …20

活・研究 長期研修生からの報告

- 小学校編 運動エネルギー概念の確かな基礎づくりのための教材・教具の開発
～第3学年「風やゴムの働き」の改善の方策～ 市原市教育センター指導主事 森山 秀治 …21
- 中学校編 ものづくり教育の特色を活かした、生徒の主体性を育む協同学習の基礎的研究
～全発注方式を取り入れたものづくり教育における指導法の改善を通して～ 君津市教育委員会指導主事 岡本 誠士 …24
- 企業派遣編 「鉄づくり」を支える「人づくり」
～新日鐵住金における人材育成～ 県立館山総合高等学校教頭 藪崎 秀人 …27
- 企業派遣編 企業派遣研修を終えて
～千葉ロッテマリーンズからいただいた宝物～ 浦安市立見明川小学校長 鈴木 香織 …28
- 企業派遣編 百貨店での企業研修の経験
～「いつも、人から。」に込められた人の心を大切にできる精神～ 県立清水高等学校教頭 草刈 廣直 …29

情報アラカルト

- 葛南教育事務所の現状と学校訪問から見えてくるもの 葛南教育事務所 …30
- 東葛飾教育事務所～指導行政の推進をより高いものへ～ 東葛飾教育事務所 …31
- 北総教育事務所の現状と課題 ～「チーム北総」を「指導行政の推進」に～ 北総教育事務所 …32
- 東上総教育事務所の取組～事務所は学校の応援団～ 東上総教育事務所 …33
- サンサン南房総～誠実に対応する・相談しやすい・信頼される教育事務所～ 南房総教育事務所 …34
- 千葉市教育委員会の現状と課題～新たな体制の中で、更なる教育活動の充実を目指して～ 千葉市教育委員会 …35

学校 NOW！

- 学校歳時記 効果的な移行措置をどう進めるか 教育創造研究センター所長 高階 玲治 …36
- 笑顔がいっぱい 私が感じた「いじめ対策・不登校対策」 千葉市立稲毛高等学校教諭 澤田石 賢 …38

◆情報アラカルト

平成 29 年度全国学力・学習状況調査 本県の結果について 県総合教育センター学力調査部

道標

新学習指導要領特集Ⅱ～プログラミング教育の在り方～

コンピュータで指示を与えれば、機械が自動的に動くものを作る時代から、機械が自分で考えて動くような時代へと社会は変化してきている。2030年には、今ある5割以上の仕事が、ほぼ全て機械に置き換わるだろうといわれ、今の子どもたちはこのような急速に進展している情報技術の中で生きていかなければならない。

平成 29 年 3 月に公示された新小学校学習指導要領では、各教科等の特質に応じて「プログラミング教育」が位置付けられた。具体的には、「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を計画的に実施することとしている。

発達段階の初期での必修化については、将来どのような職業に就くとしても時代を超えて普遍的に求められる力としてのプログラミング的思考を育むことが目的であり、コーディング（プログラミング言語を用いた記述方法）を覚えることが目的ではないといわれている。

今後、各小学校では、プログラミング教育完全実施に向けて、指導時間（教科）・指導方法・指導教材などの課題に直面すると考えられ、指導に不安を抱く教員も多い。

本号では、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」とは何か、さらに、小学校段階におけるプログラミング教育の在り方について探っていききたい。